



こころが動く一瞬がある。
誰かの人生があなたの力になる。



チューリップテレビ
×
J MAX THEATER とやま

ドキュメンタリーフェスティバル 2026 | 5.30(土) 31(日)

J MAX THEATER とやま
ウェストプラザ 特設ステージ



ドキュメンタリーを観に行こうよ。

こころが動く一瞬がある。

誰かの人生があなたの力になるから。

世界を見渡すと、様々な不条理があふれています。政治家の不正、権力をふりかざす独裁者、大義のない戦争や事件で人々の命が失われています。その一方で、懸命に生きる人たちがいます。私たちは取材を重ね、ドキュメンタリーを制作しお届けしてきました。

今回は、「地方自治とメディア」「人の営みと尊厳」をテーマに、番組や映画作品を厳選し上映いたします。

制作者によるトークセッションや交流会、制作の舞台裏や作品に込めた思いに触れていただけるイベントも行います。

チューリップテレビとJMAX THEATERとやまが送る「ドキュメンタリーフェスティバル2026」。ぜひご友人やご家族と劇場へお出かけください。

制作者による
トークセッション、
公開トーク開催！
(詳しくは裏面へ)

>> PROGRAM LINEUP

番組 「崖縁 政治家とテレビと民主主義」

取材：毛田千代丸 / ディレクター：権谷茂博、松澤光輝 / プロデューサー：安倍太郎 / 2025年12月 52分



説明を拒む政治家と、問い続けるメディア。民主主義の“がけつぼ”を記録した、魂の記録

JNNネットワーク協議会賞
キャリアシー賞 テレビ部門
ほか受賞多数

「自民王国」富山で浮上した現職国会議員による「幽霊党員」疑惑。2024年衆院選の最中、不正をうかがわせる音声データを入手しながらも、私たちは報じきれなかった。男はわずか738票差で5選を果たす。敗元に刺さったままの、あの痛恨の録音…。2025年夏の参院選。自責を胸に再び立ち上がった私たちに、政治の闇から「選挙妨害」の圧力が迫る。それでも今度は報じた。王国に下され

た「自民敗退」の審判。それは有権者が突きつけた、事実上の「NO」の宣告だった。地元組織もまた、明確に拒絶の意志を示す。しかし、永田町は地元決定を尻目に、男を要請へと押し上げていく。説明を拒む政治家と、自問自答を繰り返すメディア。“がけつぼ”に立たされているのは、果たして誰か。民主主義の現在地を撃つ、魂の記録。

映画 「私は白鳥」

監督：権谷茂博 / 出演：白鳥麗影、澤江弘一 / 取材：梶谷昌吾
製作：チューリップテレビ・TBSテレビ / 配給：キター / 2021年 104分



翼の折れた白鳥と“おじさん”の奇跡の物語。雄大な立山連峰を背景に繰り広げられる小さな命の波瀾万丈

アメリカ国際フィルム・ビデオ祭
ゴールデンスター賞
ニューヨークフェスティバル
ファイナリスト
ほか受賞多数

2018年、白鳥のつがいの一羽が、羽をけがしてシベリアに舞えず、富山に残ってしまった。これまで、富山でひと夏を越した野生の白鳥はいない。このつがいをもう一度再会させてやりたいと、白鳥の世話を始めたのが澤江弘一さん(当時58)。澤江さんは、特徴のある白鳥にはユニークな名前をつけて世話をしてきた。天敵から守るため、富山の

暑い夏を越すために、奮闘の日々が始まった。傷つきながら過酷な自然界で命を懸け続ける白鳥と、それに自らを投影し見守る澤江さん。白鳥と澤江さんの生きざまを通して、生命のあり方を問いかける。公開トークに澤江弘一さんが登場、白鳥の最新映像をどうぞご覧ください。

映画 「太陽(ティダ)の運命」

監督：佐古忠彦 / 製作：RBC琉球放送・TBSテレビ / 配給：インターフィルム / 2025年 129分



いま知るべき知事たちの苦闘と、この国の現在地。平和を追い求め、理不尽に抗い、信念に生きた二人の男—その熱き闘いの記録

第4代沖縄県知事の大田昌秀と第7代知事の翁長雄志は政治的に対極の立場にあったが、それぞれ県民の幅広い支持を得て県政を運営。大田は軍用地強制使用の代理署名拒否、翁長は辺野古埋め立て承認取り止しをめぐり法廷で国と争い、民主

主義や地方自治のあり方、国の矛盾を浮き彫りにした。二人が相剋の果てにたどり着いたものとは？この国の現在地とは？信念を貫いた沖縄県知事像を通して、沖縄現代史に迫るドキュメンタリー。

PROGRAM LINEUP

映画 「ヤジと民主主義」

制作・編集・監督：山崎裕博 / 製作：HBC北海道放送
配給：KADOKAWA / 2023年 100分



「メディア」の眼前で起こった「市民」「権力」「政治」を巻き込んだ、あの「ヤジ排除問題」に迫る緊迫の1460日。

2019年7月、札幌で参議院選挙の応援演説をしていた安倍晋三総理(当時)にヤジを飛ばした男女が北海道警察に排除された。年金政策を批判するプラカードを掲げようとした女性らも排除されるなど、表現の自由を警察が奪った問題として注目を集めた。この問題を追及し数々の賞を受賞したドキュメンタリー番組の劇場版。テレビでは伝えられなかった映像や証言、追加取材を交え再編集。安倍総理銃撃事件後、さらに重要な意味を増す問題作。

東京ドキュメンタリー映画祭
コンペティション
キャリアシー賞
テレビ部門
ほか受賞多数

映画 「ライフテープ」

監督・撮影・編集：安楽流 / 製作：すねかじりスタジオ
プロデューサー：大島新、前田聖記 / 配給：東風 / 2025年 101分



大切な記録は、愛おしい記憶になる。ひときわあたたかくて、抱きしめたくなるドキュメンタリー

2022年10月、幼馴染で親友の唯一から「家族を撮ってほしい」と言われた安楽監督は、彼らの日常にカメラを向け始める。隆一と妻・朱香の間に生まれたばかりの珀久は、鎖の欠乏により様々な問題が生じる先天性代謝異常症「メクス病」を抱えている。親子3人と猫のフィガロの暮らしには笑顔が絶えないが、出産から診断までの朱香の日記には、現実をなんとか受け止めようとする二人の切実な言葉があまりのままとつづられていた。逃げ場のない孤独と不安に向き合いながら日常を紡いでいた彼らは、珀久の喉の手術という大きな決断の時を迎える。

鹿ノ高円寺ドキュメンタリーフェスティバル
コンペティション部門入賞

番組 「アートであ〜る 2+1=21」

ディレクター：小澤真実 / プロデューサー：権谷茂博 / 2025年 52分



湧き上がる衝動で生み出す独創的な芸術。見方を変えれば、世界はもっと豊かになる

美術教育を受けていない人たちが湧き上がる衝動のままに生み出す、ありのままのアート「アール・ブリュット」。知的障害や発達障害のある作り手たちが生み出すアートは、とらわれない心のパワーにあふれている。しかし、みんながみんな「アートの天才」ではない。時に迷ったり、描けなくなったりしながら、自分だけの世界を作り上げていく。アートを通して見えてくる人間ひとり一人がもつ多様な豊かな世界。アートって何？表現って何？障害って何？一つの数式が、新たな価値観を教えてくれた。見方を変えれば世界は豊かになる...。生きづらさを抱えた人もそうでない人も少し「アートの天才」ではない。時に迷ったり、描けなくなったりしながら、自分だけの世界を作り上げ

ていく。アートを通して見えてくる人間ひとり一人がもつ多様な豊かな世界。アートって何？表現って何？障害って何？一つの数式が、新たな価値観を教えてくれた。見方を変えれば世界は豊かになる...。生きづらさを抱えた人もそうでない人も少し「アートの天才」ではない。時に迷ったり、描けなくなったりしながら、自分だけの世界を作り上げ

映画 「はりぼて」

監督：砂澤智史、五百政直幸男 / プロデューサー：藤部寿人
製作：チューリップテレビ / 配給：彩プロ / 2020年 100分



それは、ひとつのスクープから始まった。地方議会の闇を暴いた、執念のドキュメンタリー。

2016年8月、チューリップテレビのニュース番組が「自民党会派の富山県議 政務活動費事実と異なる報告」とスクープ報道をした。この県議は“富山県議会のドン”といわれていた自民党の重鎮で、その後、自らの不正を認め議員辞職。これを皮切りに議員たちの不正が次々と発覚し、半年の間に14人の議員が辞職していった。その後

も不正は次々と発覚したが、議員たちは辞職せず居座るようになり、記者の取材も甘くなっていった。メディアとしてこのままでいいのか、地方からこの国のあり方を問う。そして、「はりぼて」を目の当たりにした記者たちのそばにも「はりぼて」はあった。政治家と取材者の対峙が問われる今だから観てほしいドキュメンタリー。

菊池直貴
文化庁
芸術祭賞
ほか受賞多数

特別招待作品

映画 「ロストランド」

脚本・監督・編集：藤元明晴 / 企画・製作：E.x.N
配給：キノフィルムズ / 2025年 99分

残酷な世界で懸命に生きるふたりが歩む、希望への道。

難民キャンプで暮らす5歳のシャフィと9歳の姉ソミラ。二人は家族との再会を願い、叔母と共に遠く離れたマレーシアへ旅立つことに。パスポートを持っていない彼らは密航業者に導かれるままに漁船へと乗せられる。自然の猛威や人身売買の危機に阻まれるが、姉弟は過酷な道のりを必死に乗り越えていく。

世界三大映画祭の一つである第82回ベネチア国際映画祭オリゾンティ部門にて、日本人監督初の審査員特別賞をはじめ、各国の映画祭で奨励と受賞を重ねている作品。今回の「ドキュメンタリー映画祭」でプレミア上映が決定。

ベネチア国際映画祭
オリゾンティ部門 審査員特別賞

上装スケジュールは
JMAX THEATER とやま
公式サイトより



制作者による、作品に込めた思いとその裏側に迫るトークセッション開催!

>> TALK SESSION

トークセッション | 会場: J MAX THEATERとやま

第1部 5.30(土) 18:20

「嘘をつけないほどの本気が見たい!」
今、民主主義の現在地を問う

- ◎佐古忠彦(『太陽の運命』監督)
- ◎山崎裕侍(『ヤジと民主主義』監督)
- ◎大島 新(映画監督『ライフテープ』プロデューサー)
- ◎松澤光聡(『崖線』取材・チューリップテレビ ニュースデスク)
- 司会:毛田千代丸(チューリップテレビキャスター)

第2部 5.31(日) 12:30

「なぜわたしたちは映画をつくるのか」
Echo/エコー響きあう社会へ制作の現場から〜

- ◎藤元明緒(『ロストランド』監督)
- ◎山崎裕侍(『ヤジと民主主義』監督)
- ◎佐古忠彦(『太陽の運命』監督)
- ◎横谷茂博(『崖線』ディレクター・チューリップテレビ報道制作局長)
- ◎毛田千代丸(『崖線』取材・チューリップテレビキャスター)



>> OPEN TALK

ウェストプラザ 公開トーク | 会場: ウェストプラザ 特設ステージ

公開トーク1 5.30(土) 14:15

家族で観てほしいドキュメンタリー、
ご当地映画の魅力

〜「アートであ〜る」「東京バースト」
「私は白鳥」「ライフテープ」

- ◎大島 新(映画監督『ライフテープ』プロデューサー)
- ◎小澤真実(『アートであ〜る』ディレクター)
- ◎澤江弘一(『私は白鳥』出演・白鳥撮影)
- ◎打田由希子(J MAX THEATERとやま支配人)
- 司会:舟本真理(チューリップテレビキャスター)

公開トーク2 5.31(日) 11:30

テレビよりドキドキ! 親子で
ドキュメンタリー映画を親に行こう!

〜傷ついた白鳥の今

- ◎澤江弘一(『私は白鳥』出演・白鳥撮影)
- ◎横谷茂博(『私は白鳥』監督)



SCHEDULE & TICKET

上映スケジュール

▼ 5.30(土)

J MAX THEATER とやま	ウェストプラザ
9:20-10:10 崖線	
10:15-11:10 アートであ〜る	
11:30-13:11 ヤジと民主主義	
	14:15-15:00 公開トーク1
16:00-18:00 太陽(ティタ)の運命	
18:20-19:05 トークセッション 第1部	

▼ 5.31(日)

J MAX THEATER とやま	ウェストプラザ
9:30-11:10 ライフテープ	
11:25-12:25 崖線	11:30-12:00 公開トーク2
12:30-13:15 トークセッション 第2部	
16:00-17:41 私は白鳥	
18:05-19:45 はりぼて	

チケット (各作品+トーク)

大人 1,500円 / 25歳以下 1,000円

★トークセッションのみの場合は 大人 1,000円/25歳以下 500円

★テレビ番組の「崖線」と「アートであ〜る」は無料でご覧いただけます。(視聴のみ)

※上映スケジュール、トークイベントの登壇者は変更になる場合があります。
※当日の入場状況によっては上映回数に入場制限をかけさせて頂く場合がございます。
※25歳以下のチケットをお求めの方は、年齢を確認できるものをお持ちください。

◎特別招待作品「ロストランド」

J MAX THEATER とやまの映画鑑賞料金(公式ホームページに掲載)

※上記イベント料金は適用されませんのでご注意ください。

〈会場〉

J MAX THEATERとやま

富山市総曲輪3-9-1
セントラム大手モール駅下車すぐ



MAXTHEATERとやま

〈お問合せ〉

- ・チューリップテレビ: 076-442-7000(メディア戦略室)
- ・J MAX THEATER とやま: 076-461-4461

○主催:チューリップテレビ / J MAX THEATER とやま ○協力:TBSテレビ / HBC北海道放送 / RBC琉球放送